

中央環境審議会自然環境部会 自然公園等小委員会（第37回）

国立公園事業の決定・廃止・変更案件 に関する説明資料

（当日説明なし）

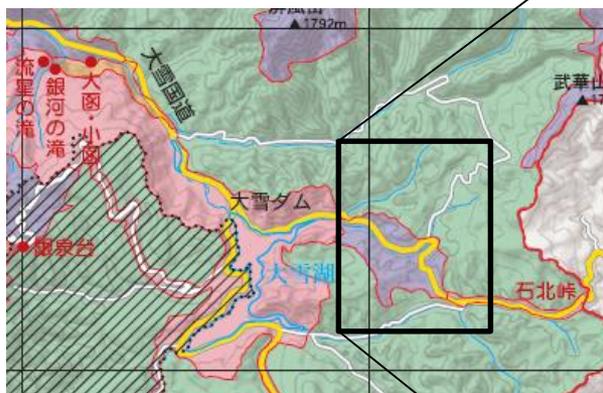
大雪山国立公園 大雪台園地

廃止

規模：決定なし

第1種特別地域（国有林）

●位置図



●公園計画図



○旧国道39号線沿いに位置する。国道39号線は平成14年に線形改良が行われ現在は層雲峡ルベシベ線道路（車道）として執行されているが、旧国道39号線は廃道して原状復旧されており大雪台園地に国立公園利用者がアクセスすることはできない。

廃止理由

- 大雪台園地は、かつて、国道39号線の利用者が休憩し、大雪山の山並みを展望する園地として利用されていたが、平成14年に線形改良が行われて以降、利用者はアクセスすることができず、施設の撤去もなされ、植生も自然に回復してササに覆われている。
- 層雲峡ルベシベ線道路（車道）事業（国道39号線）の大部分で線形改良が行われた現状では、当該園地を再整備する必要性に乏しい。
- このため、本事業を維持する公園保護上、利用上の必要性はなく、廃止するものである。



原状復旧された旧国道39号線と大雪台園地入口

自然環境への影響

- 昭和34年に整備された木柵、標柱、ベンチ等の施設は撤去されて見受けられない。斜面の土留めのための石積みが一部残存しているが、撤去することで斜面の流出、崩落も想定されること、林床にはササ等の植生が生育して地表面が保護されていることから、現状のままとする。



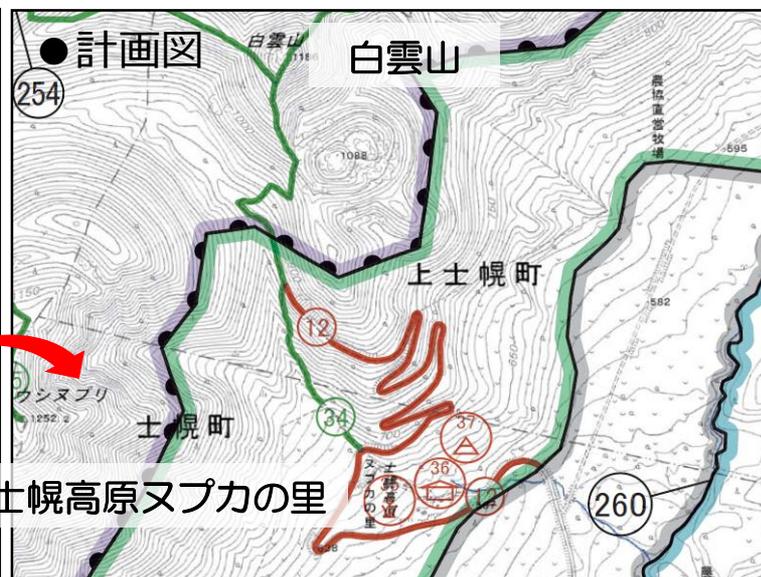
ササの中にかつての石積みが見受けられる

大雪山国立公園 士幌然別線道路（車道）

変更

路線距離：規模決定なし→4.8km
 執行者：北海道

第3種特別地域（国有林、町有地）



- 然別湖外輪山の一つである白雲山の南麓斜面にあり、士幌高原又プカの里（士幌高原園地）へ至る路線である。
- 十勝平野の眺望を楽しむため士幌高原園地を訪れる利用者のアクセス道路として利用されている。

未開削区間の削除

- 既開削区間について、北海道が引き続き維持管理を行う。
- 現在供用されていない白雲山登山口以降の区間については原状復旧が望ましいが、予算等の事情から即座に対応することは難しいため、当面は公園事業道路として継続し、原状復旧については北海道と調整を図っていく。

- 供用区間：約1.6km
- 非供用区間（舗装）：約1.0km
- 非供用区間（未舗装）：約2.2km



自然環境への影響

現状の維持であり変更はないことから、新たな自然環境への影響はない。

大雪山国立公園 トムラウシ山線道路（歩道）

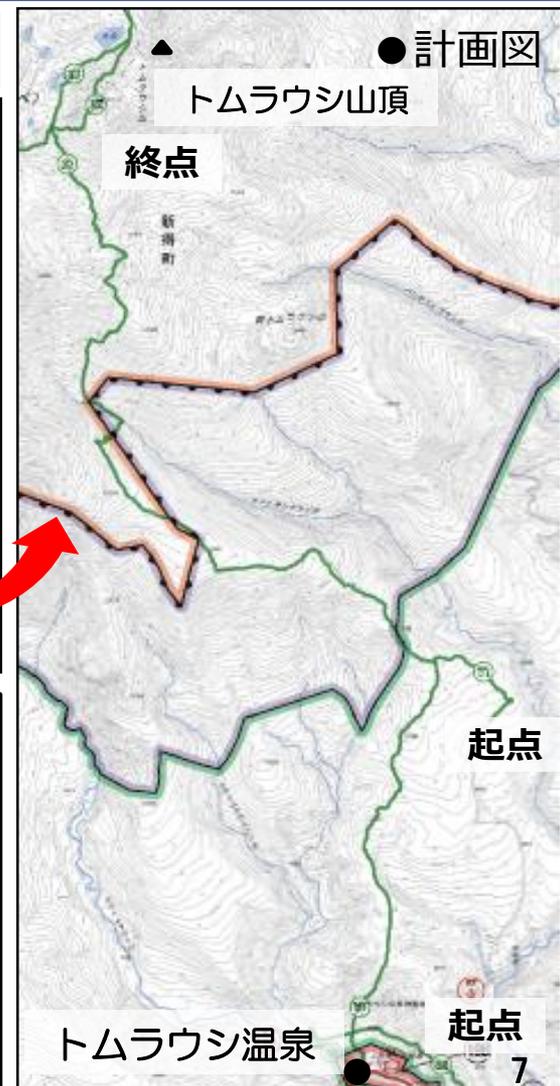
変更

路線距離：12km→13km

執行者（予定）：環境省・北海道

特別保護地区、第1・2・3種特別地域（国有林）

山頂と登山道



- トムラウシ山南麓から山頂へ向かう歩道で、2つの登山口を有する。
- 標高1,450m以降の高山帯ではチングルマ等高山植物の広大なお花畑が広がる。
- トムラウシ山登山のメインルートとして利用されており、両登山口合わせて年間3,200人程の入山がある。

トムラウシ温泉

起点
7



【事業規模】 路線距離：12km→13km



既存標識（環境省）



既存トイレ（北海道）

- 従来からトムラウシ山の主たる登山コースとして利用されてきた短縮コース（1 km）及び同コース登山口に位置する既存の標識と公衆トイレを公園事業に位置づけるもの。
- 平成29年度の入山者数は、
短縮コース：約3,100人
温泉コース：約100人であり、
9割以上が短縮コースを利用している。

自然環境への影響

土地の改変等、新たな自然環境の改変が行われるものではない。

支笏洞爺国立公園 壮瞥温泉宿舎

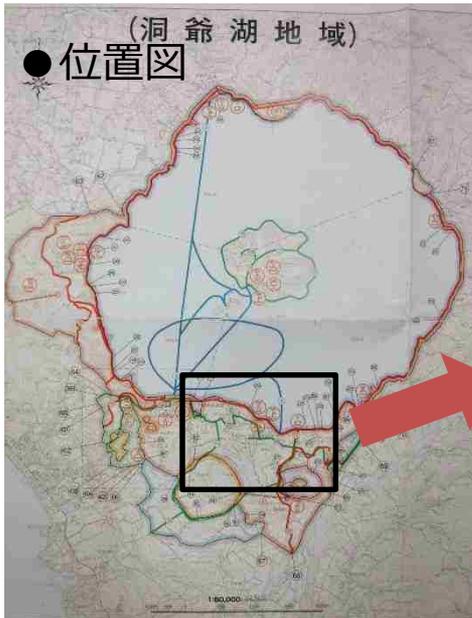
変更

区域面積：4.0ha→4.9ha

最大宿泊者数：540人/日（変更なし）

執行者（予定）：民間

第2種特別地域（民有地）



●計画図



○洞爺湖の南に位置している。田園地帯の中の小規模な施設が静かな雰囲気を保っていることから、洞爺湖の優れた景観が維持されている。

○温泉を利用した宿泊、保養等利用のほか、周辺の火山景観資源を活用した自然体験や洞爺湖の水辺利用の拠点となっている。

壮瞥温泉宿舎決定区域



区域面積：4.0ha→4.9ha

最大宿泊者数：540人/日（変更なし）



今回追加区域から昭和山を望む

これまで企業の保養所であった施設を一般向けの宿舎として改修及び増築を行う計画があるため、既存施設及び増築予定の区域を拡張するもの。
近年の訪日旅行者等の増加によって、この地域を訪れる利用者は増加傾向にあり、老朽化した施設の改築や需要に対応するための増築の必要性は認められる。

宿舎の増築

執行者（予定）：民間

- 既存の宿舎を改修するとともに、隣接地に増築を行う。



自然環境への影響

宿舎の増築は、既存宿舎に隣接した現在民家のある敷地に整備されるもので、新たな土地の改変や樹木の伐採は生じない。

三陸復興国立公園 大島（オランダ島）係留施設

決定

区域面積：180㎡

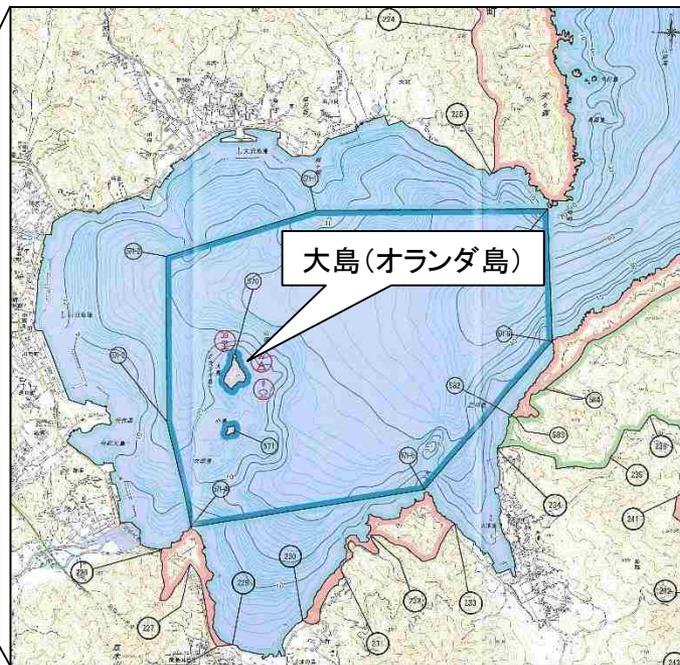
執行者（予定）：山田町

海域公園地区、第1種特別地域（町有地）

●位置図



●公園計画図



大島（オランダ島）

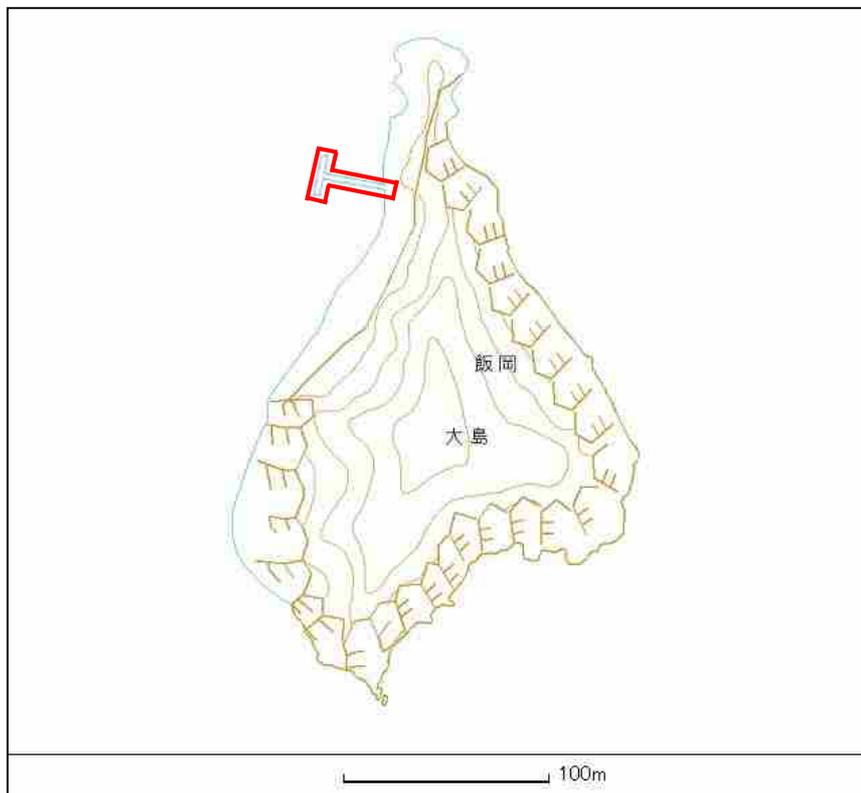


海水浴場（震災前）



大島（オランダ島）は、陸中北部地域の山田湾に位置する無人島で、美しい内湾景観を保護するため、平成30年度に海域公園地区の設定と同時に格上げ（2特→1特）を実施した。波が静かな湾内は漁業資源にも恵まれ水産業が盛んであるとともに、震災前まではオランダ島を拠点とした海水浴やシーカヤック等の利用が行われていた。

大島（オランダ島）係留施設 決定区域図



事業規模

区域面積：180㎡



大島（オランダ島）にある唯一の船着き場で、海水浴等のオランダ島の利用者に乗せた船が発着する。東日本大震災による津波で破損しており、今後、山田町において復旧・再整備を行う予定。既存施設の規模（120㎡）を基本とするが、設計の詳細が未定であるため、余裕を見て180㎡としている。

既存施設の把握（係留施設）

執行者：山田町

- 大島（オランダ島）を利用する上で必要かつ適正な規模の施設であり、位置も海水浴場として利用される砂浜の端部にあり、利便性及び景観面を踏まえ適当である。
- 今後、山田町においては係留施設のほか避難路、遊歩道等を、環境省は公衆トイレの復旧・整備を行い、園地の適正な利用を推進していく予定。

自然環境への影響

整備位置は海水浴場として利用される砂浜の端部にあたり、景観への影響は少ない。施工に当たっては、手摺りに擬木を使用すること及び汚濁防止対策としてシルトフェンス（汚濁防止膜）を設置することを想定。



磐梯朝日国立公園
横向温泉索道運送施設

決定

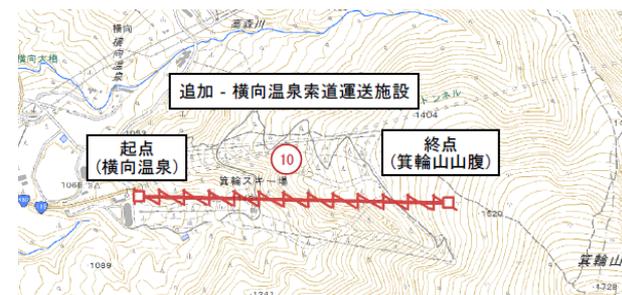
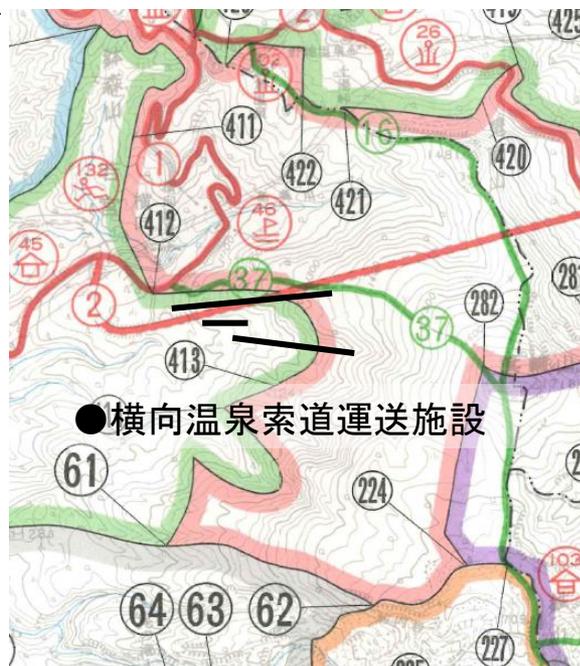
路線距離 : ①1.5km②0.6km③1.1km
最大輸送量 : ① ②2,400人③1,200人/時
執行予定者 : 民間

第2種特別地域及び第3種特別地域 (国有林)

●位置図



●公園計画図

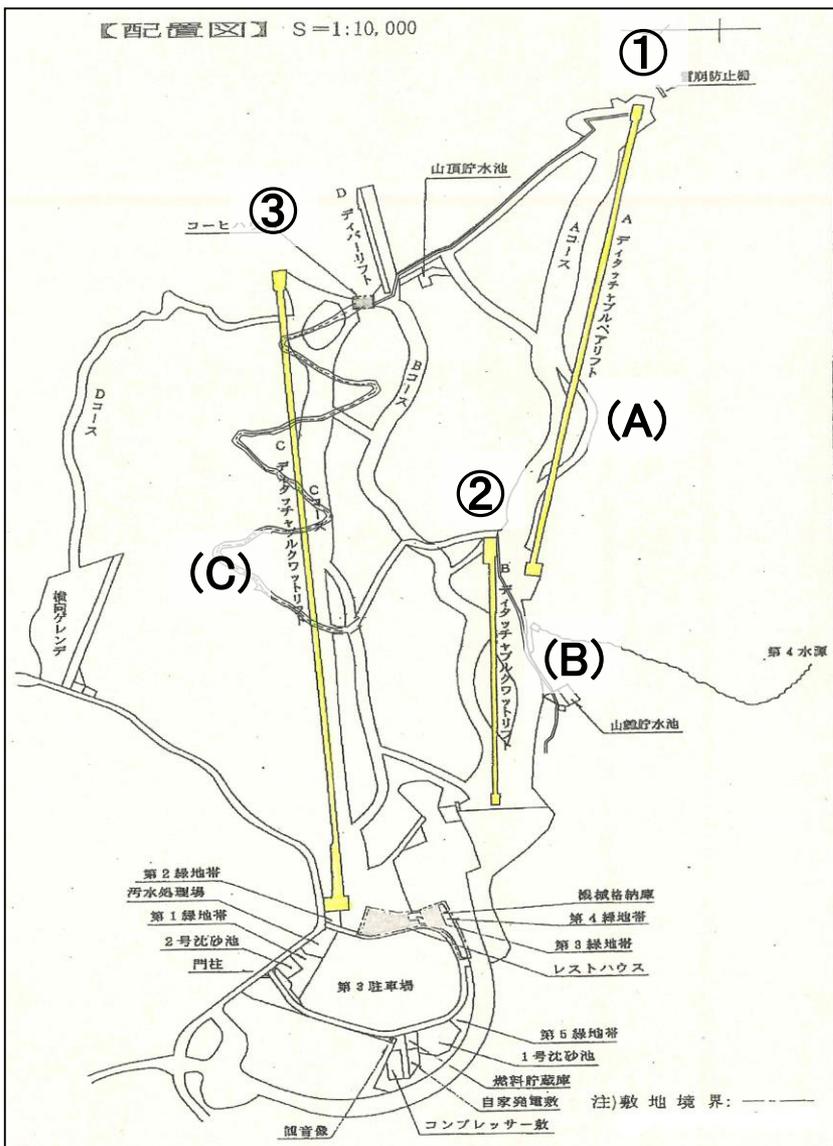


※H30秋審で計画決定



- 安達太良連峰の箕輪山の西斜面に整備された横向温泉スキー場内。周辺はカラマツ人工林やブナ等の広葉樹林。
- 主な利用は箕輪山登山、横向温泉スキー場でのスキー、横向温泉での入浴等。

<決定区域図>



- 横向温泉スキー場の既存リフト3本を索道運送施設として位置付けて夏季に運行させるもの。決定規模は下記のとおり。

- ①リフト (A) : 路線距離 1.5km
最大輸送量 2,400人/時
- ②リフト (B) : 路線距離 0.6km
最大輸送量 2,400人/時
- ③リフト (C) : 路線距離 1.1km
最大輸送量 1,200人/時

- 新たな施設整備は計画されておらず、既存施設を把握するもの。

既存施設の把握（リフト）

執行者：民間

- 横向温泉スキー場として執行している既存リフト3本を索道運送施設として位置付けて夏季に運行させ、①～③を実施する。
 - ①リフト終点からの磐梯山や吾妻連峰の眺望観光
 - ②スキー場管理道路を使ったブナ林散策
 - ③星空観察



リフト(B)起点



磐梯山や吾妻連峰の眺め



リフト(C)終点



リフト(C)

自然環境への影響

- 現在は利用者が少ない夏期に横向温泉スキー場及び箕輪山登山道の利用が増えると予想されるが、新たな施設整備は行わずに既存リフトを活用するものであることから、自然環境への影響は小さい。



箕輪山頂から眺めた安達太良連峰

箕輪山登山道について

- リフト（C）終点の近くに箕輪山の登山道が通っているが、洗掘が進んでおり、公園事業として執行されておらず十分に管理されていない。
- 観光客や大人数での登山利用に適した状態ではないことから、看板等によりリスクを事前に周知しリフト利用者に対する箕輪山登山道への誘導は行わない。



洗掘された登山道



登山道を塞ぐ倒木

磐梯朝日国立公園 奥岳公衆浴場

決定

区域面積：0.3ha

執行予定者：民間

第3種特別地域（国有林）

●位置図



●公園計画図



※H30秋審で計画決定

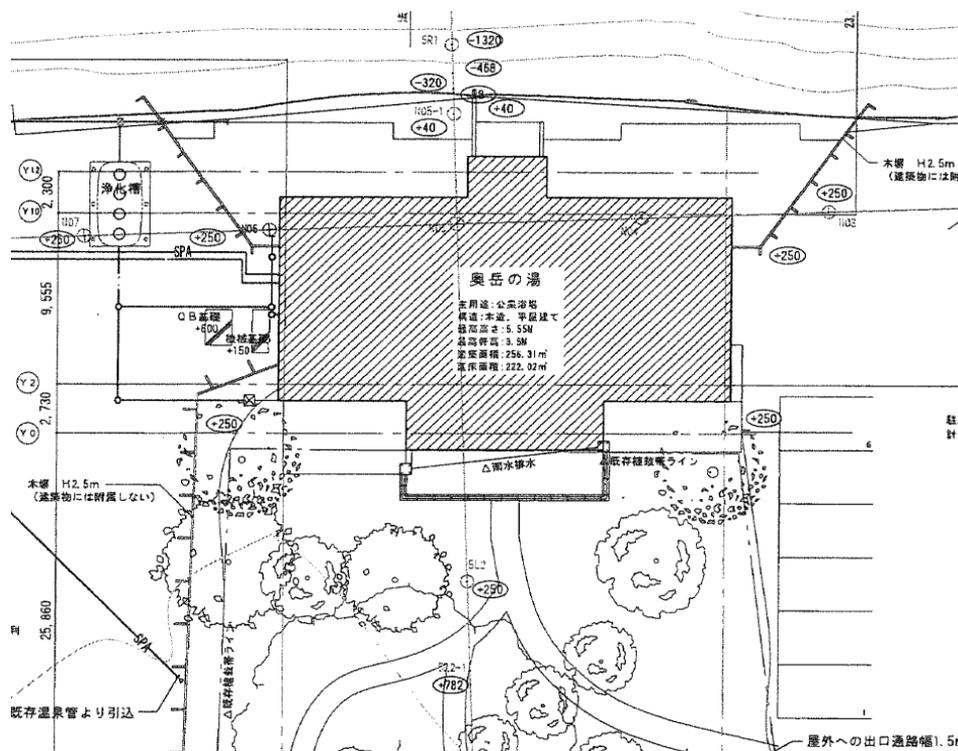


- 安達太良山の東斜面に整備された奥岳スキー場に隣接。
- 周辺はカラマツ人工林やミズナラ等の広葉樹林。
- 主な利用は安達太良山登山、奥岳スキー場でのスキー、奥岳の湯での入浴等。

奥岳公衆浴場決定区域図

事業規模

区域面積 : 0.3ha



- 現在は奥岳スキー場索道運送施設の附帯休憩所として日帰り温泉施設が執行されており、2,926㎡の敷地に建築面積256.31㎡の木造平屋建ての施設が整備されている。
- 既存の日帰り温泉施設「奥岳の湯」を公衆浴場として位置付ける。
- 施設の拡張等は計画されておらず、既存の施設の範囲で事業決定するもの。

既存施設の把握（温浴棟、駐車場）

執行者：民間

- 奥岳スキー場索道運送施設の附帯休憩所として日帰り温泉施設が執行されており、温浴棟、駐車場等の施設が整備されている。
- 新たに施設を整備する予定はなく、自然環境への影響は特にない。



温浴棟



駐車場

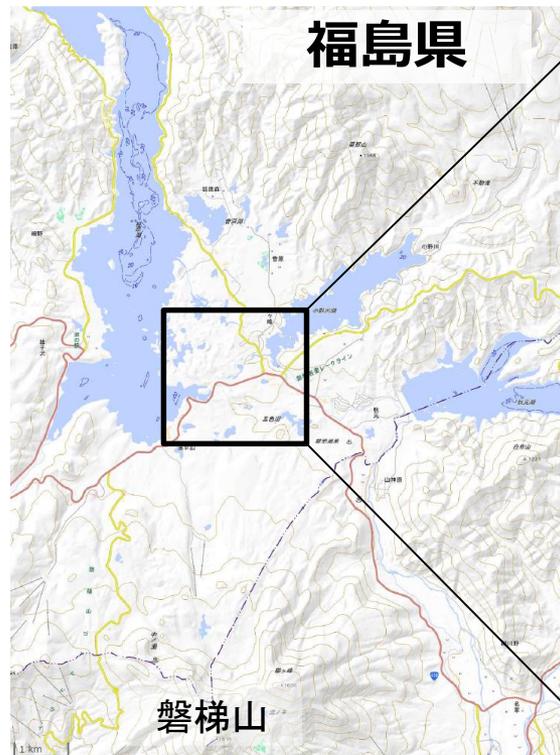
磐梯朝日国立公園 中瀬沼弁天沼線道路（歩道）

廃止

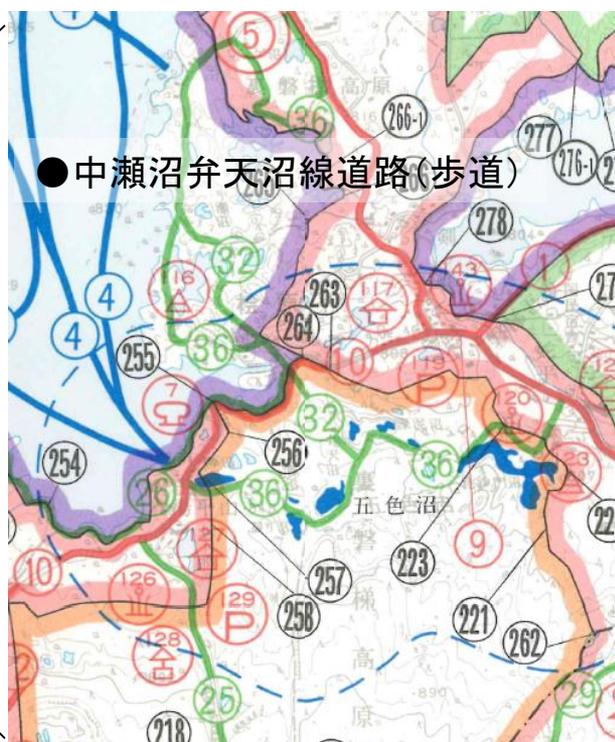
路線距離：2.5km

第1種特別地域（公有地）

●位置図



●公園計画図



○磐梯山の北側の裏磐梯に位置し、付近には東北自然歩道線道路（歩道）、桧原湖南東岸野営場等の公園利用施設が整備されている。

○裏磐梯の主な利用は、磐梯山登山、五色沼の自然探勝、桧原湖上の遊覧等。

廃止理由

- 当該歩道は既存歩道を整備する想定だったが、かつて道があった場所は植物が生い茂って自然に戻りつつあり、中瀬沼弁天沼線道路（歩道）は公園利用上必要なくなったため。



自然環境への影響

- 中瀬沼弁天沼線道路（歩道）は事業執行されておらず、かつて道があった場所は植物が生い茂って自然に戻りつつあり、中瀬沼弁天沼線道路（歩道）を廃止することによる環境への影響はない。

磐梯朝日国立公園 土湯沢温泉宿舎

廃止

区域面積：0.4ha

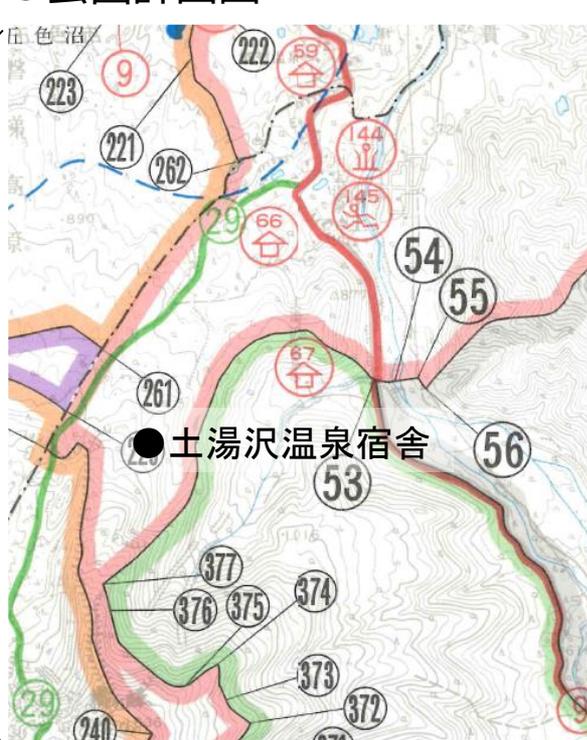
最大宿泊者数：200人/日

第3種特別地域（公有地）

●位置図



●公園計画図



- 磐梯山の北東側に位置し、米沢猪苗代線道路（車道）から林道を約500m入った場所。
- 土湯沢宿舎は廃業し、跡地で地熱開発の試掘が行われた場所であり、一般の公園利用者は立ち入らない。

廃止理由

- 土湯沢宿舎は昭和37年の公園計画の変更の際に計画に追加され、民間により事業執行されたが昭和39年頃に消失し、平成8年に事業失効した。
- 一般の利用者が立ち入らない場所で施設がなくなってから長期間経過しており、新たに事業執行される見込みがないことから、今回公園計画から削除されるのに伴い、廃止するもの。



自然環境への影響

- 土湯沢宿舎は平成8年に失効して建築物は残っておらず、土湯沢温泉宿舎を廃止することによる環境への影響はない。



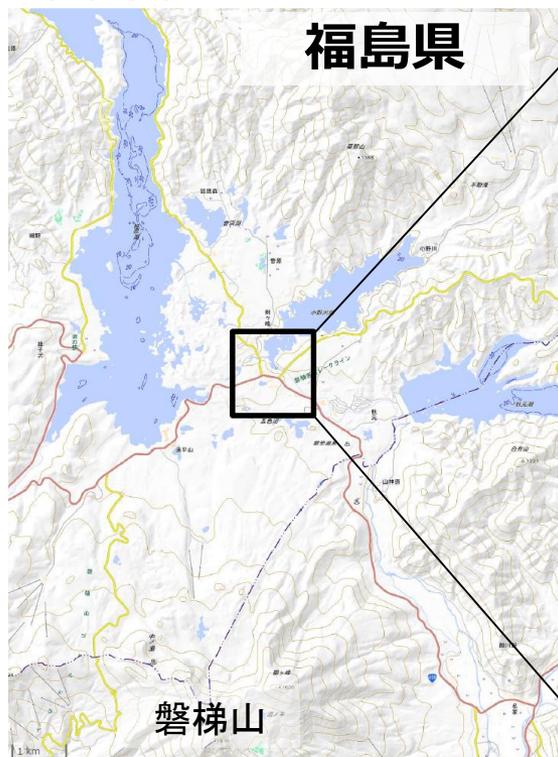
磐梯朝日国立公園 吐出駐車場

廃止

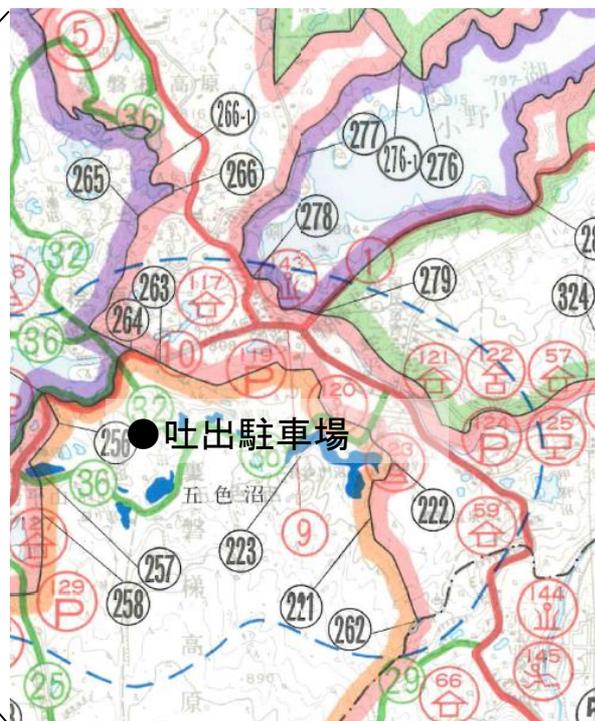
区域面積：0.2ha

第2種特別地域（公有地）

●位置図



●公園計画図



○磐梯山の北側の裏磐梯に位置し、付近には民間や公共の施設が多く、公園利用施設は米沢猪苗代線道路（車道）のみ。

○裏磐梯の主な利用は、磐梯山登山、五色沼の自然探勝、桧原湖上の遊覧等。

廃止理由

- 計画地付近には米沢猪苗代線道路（車道）以外の公園利用施設はなく、周辺の民間施設や公共施設は各施設の駐車場で足りており、吐出駐車場は公園利用上必要なくなったため。



自然環境への影響

- 吐出駐車場は事業執行されておらず、吐出駐車場を廃止することによる環境への影響はない。



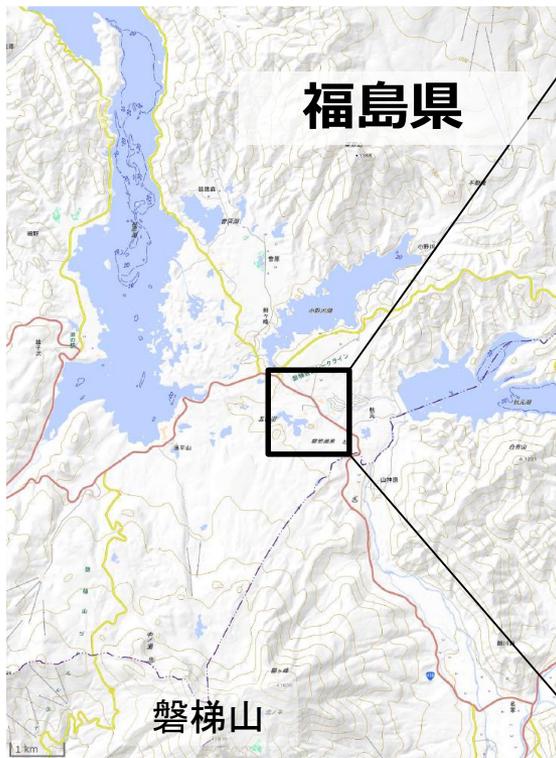
磐梯朝日国立公園 五色沼東休憩所

廃止

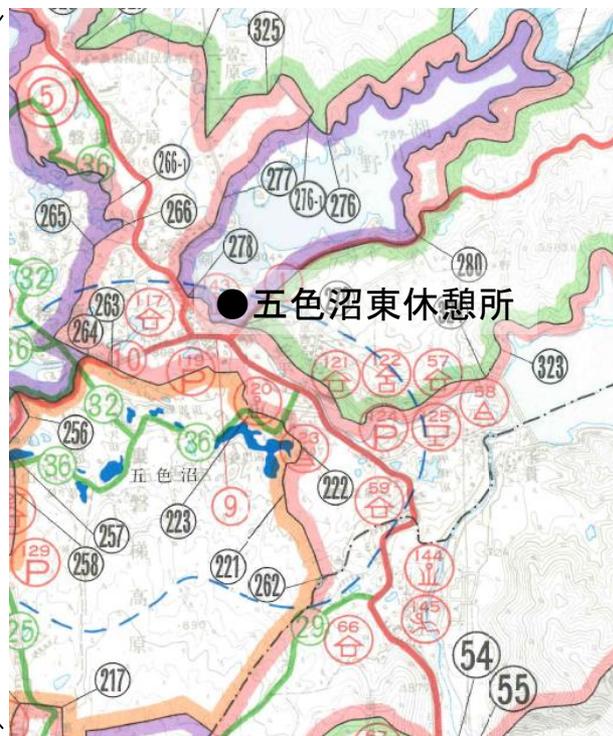
区域面積：10ha

第2種特別地域（国有地（環境省所管地））

●位置図



●公園計画図



○磐梯山の北側の裏磐梯高原に位置し、付近には五色沼東博物展示施設、五色沼東園地等の公園利用施設がある。

○裏磐梯の主な利用は磐梯山登山、五色沼の自然探勝、桧原湖上の遊覧等。

廃止理由

- 平成18年に公園事業が廃止され、跡地は環境省所管地となり現在は五色沼東園地として整備されている。
- 周辺には公園利用者が飲食できる民間施設が複数あり、五色沼東園地に四阿やベンチが整備されており、五色沼東休憩所は公園利用上必要なくなったため。



五色沼東園地

自然環境への影響

- 五色沼東休憩所の跡地は環境省所管の国有地となっており、環境省が五色沼東園地を執行しているため、五色沼東休憩所を廃止することによる環境への影響はない。



五色沼東園地の園路